

志田義秀 タカ 國文學者、文學博士。明治九年七月、二十七日富山縣生れ、昭和二十一年一月十七日歿（八六―一九六）。妻、藤井。號不遠舍素琴、虛白。明治二十六年東京帝國大學文科大學國文學科卒。第七高等學校、成蹊高等學校、東洋大學各教授歴任。昭和七年俳誌『東吹』創刊主宰。同學士田延義タカは長男。

著書『日本文學植物美觀』（明治四十一年九月、千八百晴光館書店）、『北鳥石譜詳解』（明治四十五年二月十日辰文館）、『俳文學の考察』（昭和七年二月十五日明治書院）、『日本宗教文學』（昭和九年一月十日

東方書院『日本宗教講座』）、『越谷吾山『附吾山俳句集』（昭和九年十一月十日、千六百埼玉・越谷吾山翁記念事業會）、『俳句作法講座・第

一卷』（合著・山本三平編、昭和十五年九月、千五百改造社）、句集『山

萩』（大森桐明編、昭和十一年十一月、千七百素琴七志田先生華宙記念句集刊行會）、『問題の點を芭蕉の傳記の研究』（昭和十二年十月十

八日河出書房）、『芭蕉俳句の解釋と鑑賞』（昭和十五年十月十五日

至文堂）、『芭蕉と俳諧の精神』（教養詩編、再版、昭和十五年十月

二十日内閣印刷局『日本精神叢書』）、『俳文學二種選』（選、昭和十五年十一月、千五百明治書院）、『國語文化講座・第四卷一國語藝

術篇』（合著、昭和十六年八月、千五百朝日新聞社）、『日本の傳説と童話』（昭和十六年十一月、千五百大東出版社『大東名著選』）、『俳句と俳人と』（昭和十七年四月、千五百修文館）、『芭蕉浪漫』（昭和二十一年一月十五日、再刊、四月、千五百日本評論社）、『芭蕉俳句

の解釋と鑑賞・後篇』（昭和二十一年九月一日至文堂）、『芭蕉前後』（昭和二十一年十一月、千五百日本評論社）、『國文學の道』（昭

利、二十二年七月二十日、毎月、二十五年五月二十日、西荻書店「新人文  
叢書」( )、『母馬七郎集』『大野雨山坐著』、昭和二十四年六月  
五日、三省堂出版株式會社( )、『母馬七郎集』『( )』、同、昭和二十四  
年八月、二十五年、三省堂出版株式會社( )等。